

姫路クラブ第30周年記念例会に参加して

テーマ：飛躍

サブテーマ：言葉の力を信じて

2014年11月5日（水）11：00～15：30

ホテル日航姫路 光琳の間



会場に入るなりゲストの多さに驚くばかり。

クラブ会員が会場の左右に並んで、ゲストを迎え、それぞれの祝辞等を聞いていたことには、30周年にかけの思いがひしひしと伝わってきた。そして行き届いた心遣いに頭が下がる思いであった。

記念誌の表紙に飾られた姫路城が素晴らしく、この一冊と姫路クラブ年表で30年間の歩みが手に取るように理解できる。素晴らしい内容であった。

また何より素晴らしいと感じたのは、クラブ歌を会員皆で斉唱したことである。

記念講演

「今、こだますとき

ー金子みすゞさんの まなざしー



藤野能子氏の透き通るような声での朗読、会場中にみすゞさんの詩が澄み渡り、聴衆の耳に心地よい調べを奏でていた。すの余韻の残る中、矢崎節夫氏の講演に入った。お話の中でみすゞさんの物事に対する見方を学ぶことができたので、詩の内容をあらためて感じる事ができた。今日一日みすゞの世界に引き込まれた重厚かつ優しい言葉の力がどれほど人の心を動かすかという、言葉の重要性を痛感した。

I T Cに通じる素晴らしいプログラムであったと思う。

伊勢田すみ会長はじめ、岡本淳子実行委員長、会員の皆様、本当にお疲れ様でした。